

### ATTENTION

## オフィスの植物と株式投資の関係



オフィスに置いてあるこの植物は、家の近くのスーパーで4、5年前に200円で買って来たものです。最初は高さ30センチもない小さな植物でしたが、自然光がなくオフィスの照明だけで、ここまで大きくなりました！いまでも新しい葉が次々と針のように伸び、大きな葉っぱになって行きます。先日はたくさんの種子ができ、それがばらばら床に落ちて捨てるのに大変でした。いまではオフィスでの存在感は増し、どんどん空間を侵食していくような勢いです。「これだと1000円くらいにはなっているかな」とひとりでニヤニヤしています。また不思議に緑を見ていると、心が安らぎます。さて、このような光景は株式投資のあるべき姿にもっとも近いといつてよいでしょう。最初は小さな苗でも大事に育てれば、それに応えてすくすく育ち、段々とその勢いを増して成長し、種子や実を返してくれます。ノーベル・経済学賞を受賞したサミュエルソンも言っています。「投資は、草木が育つのを見守るように。」

### COLUMN

## 個人の不動産投資はいつか来た道をたどる

個人への不動産融資が活発です。昨年、個人向け融資が前年比2割近く増え17兆7000億円となり、住宅ローン向けが押し上げたと見られています。そのなかで大いに気になるのが、マンション投資です。NHKの番組で、福岡の年収500万円のごく普通のサラリーマンが、貯金なしで1億円借入れ、何件もの賃貸物件のマンションを購入したという場面が放送されていました。夫婦で話しているのは「これから資産形成をしっかりしなくてはね。」というような会話です。特段1億円借入れているのが恐ろしいものなどという意識は全く感じませんでした。リーマンショックの前、米国で不動産ブームのとき、自宅を担保に融資を受け不動産を購入し、それを担保にさらに購入するというやり方が大流行して、「やらなければ損じゃない！」とインタビューに答えていた主婦の姿が思い浮かびます。その結末は、ご存知の通りです。日本も1990年代のバブル崩壊で痛い目にあった人は大変多かったのですが、世代が変わると「またいつか来た道をたどる」ということでしょうか。それにしても、金融機関の責任は大きいです。相変わらず「担保があれば融資の稟議は通る」という感覚が抜けません。「優れた技術やビジネスプランを評価して融資する」という目利き力が求められて久しいですが、銀行が変わるといことは「100年河清を待つ」ということでしょうか。

### MARKET

	(3月末)	(2月末比)
日経平均	18,909.26円	-209.73円 (-1.1%)
NYダウ	20,663.22ドル	-149.02ドル (-0.7%)
米ドル	111.36円	-1.62円 (-1.4%)

### 今月の言葉：

人がやっている通りに完璧に行なうより、  
自分が信じることをたとえ不完全でも  
行なうほうがいい。

-ヘンズー教神話、クリシュナ

## 座して死を待つ日本企業

3月25日の日経・トップで、パナソニック再リストラの記事が大きく掲載されました。率直に言って「またいつものリストラか」という感想です。事業の売却により縮小均衡を進めているに過ぎず、これでは社員の士気も上がらないでしょう。今回を入れて2000年以降4回は繰り返されているリストラなのです。トップが替わるごとにリストラというイメージが強く、社員もいい加減うんざりというところでしょう。しかも今回は、同じトップで2回目です。

今回のパナソニックのリストラは、液晶パネルや半導体事業会社の株の売却、デジタルカメラなど3事業の解体など、縮小することばかりにとらわれ、前向きな明るい話が出てきません。現経営陣によって、創業100周年の2019年3月期には売上高10兆円を目指す華々しくぶち上げましたが、昨年あっさりその旗を降ろし、2017年3月期売上は7兆3500億円に下方修正し、13年3月期以来の低水準という体たらくです。創業100周年の目標といえば、松下幸之助の看板を背負ったテーマで、必達の覚悟で実現しなければ、責任を取るべき性格をはらんでいます。根本的なまずさは、資産売却は縮小均衡であり、減損などのリストラでは一時的に資産価値が減るので、減価償却費が減り利益が底上げされるだけで、単なる会計操作をしているに過ぎないということです。そしてしばらくするとまたリストラ、減損というパターンを繰り返します。

ソニーが1月末、映画分野の営業権を1121億円減損しましたが、何か手を打つでもなく、単にそれだけでおしまいです。またそのうち減損を繰り返すことでしょう。

日本企業のリストラは、不採算事業の整理にとどまり、ポートフォリオの再構築や新規事業の主力化など、成長戦略の成功例が全くないことが特徴です。

東芝やシャープの例を見るまでもなく、日本企業は前向きな手を打つことが極めて希になっています。経営者であれば、当然ながら、先手、先手を打ち、将来の収益源を確保するべくまい進するものですが、日本の経営者はそのあたりの経営感覚が鈍いといわざるを得ません。グローバル基準の経営センスが決定的に去勢されたといっても過言ではありません。うちに閉じこもる経営者、公約未達成でもやめることもせず、さらなる開き直り公約。これでは、従業員の士気も上がらないでしょう。日本の経営者は、高度成長期の行け行けどんどの経営者の下で働き、その後その上司に素直な部下という形で引き上げられてきた人物が多いような感があります。

いっそのこと、シャープや日産のように、外国の経営者を入れる、外国の資本を入れるというような大胆な戦略を命取りにならないうちに取り入れるのが、早道なのかもしれません。今の日本の経営者にこれからまかせる気にはとてもなれません。

## SEMINAR

### 大幅刷新！ びとうファイナンシャルサービス代表、尾藤峰男が教える『こうすればお金の運用で必ず成功する！セミナー』

大切なお金の運用で、本当のことを知るのは大変むずかしいです。預金金利はゼロ、国の年金だけでは足りず、金融機関も利益追求に走っていて、自分自身でしっかりお金を運用する必要がありますますます高まっています。

このセミナーで、他では絶対に聞けない「お金の運用で必ず成功する方法」を学びましょう。40年近い投資経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持ち、金融機関とのしがらみがない資産運用アドバイザー、尾藤峰男だから語れる「お金の運用で必ず成功する方法」を伝授します！ぜひお越しください！



びとうファイナンシャルサービス株式会社  
代表 尾藤 峰男

日時： 2017年4月29日(土・祝日) 15:00～17:00

場所： 東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル2F リファレンス会議室

JR有楽町駅 中央西口／日比谷口より1分  
東京メトロ有楽町線有楽町駅 D2出口連絡  
東京メトロ日比谷線・千代田線日比谷駅 A6出口より3分  
都営三田線日比谷駅 B1またはB2出口より3分  
<http://tokyo.re-rental.com/yurakucho/access/>

参加費：1,000円(当日支払い)

メールまたは電話にて「4月29日セミナー参加希望」として、ご氏名、ご年齢、ご連絡先をお知らせください。  
Eメール： [info@bfsc.jp](mailto:info@bfsc.jp) Tel： 03-6721-8386

- どうしたら株式投資で最も成功するか
- 本当に正しいお金の運用法とは
- もっとも効率的にお金を増やす方法とは
- 国際分散投資はどうやったらいいか
- よい金融商品の選び方
- 証券会社や銀行にだまされないために
- お金に困らない老後の安心を確保するために
- NISAやiDeCo(個人型確定拠出年金)の活用法
- 安心してお金の相談をできる場所はどこか

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス株式会社

代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386

携帯：070-5567-3311

FAX: 050-3156-1072

電子メール：[info@bfsc.jp](mailto:info@bfsc.jp)